

子育てと幼児教育

令和3年7月号 制作：天使幼稚園

今回のテーマ：子育てには心の余裕を持って。

多くのお父さん、お母さんにとって子育ては、日々暗中模索のなかでベストを尽くされていると思います。それでも自由奔放な子どもたちに振り回され、つつい感情的に興ってしまう事もあるのではないのでしょうか。

「早くしなさい」という声かけは厳禁です

「早く起きなさい」「早く食べなさい」「早くやりなさい」など、子どもを”急かす”言葉をついつい使ってしまうがちだと思います。でもこれ、子どもにとっては大変なストレスなのです。

大人でも職場や家庭で「早くその仕事を終わらせて」とか「早く洗濯してしまっ」などとせかされるとストレスですよ。それは子どもも変わらないのです。

子どもは絶えず急かされるようになると、早く終わらせるために内容をないがしろにするようになってしまいます。いい加減でも早く終わらせることを優先してしまいます。だから「早くしなさい」は子どもにとって厳禁なのです。

常に子どもを諭すように話しかける

しかし、いつまでもダラダラとする癖がついてしまうのも考え物です。ポイントは、子どもが自分自身で「今は急ぐ場面だな」と気付くことです。そのためには子どもに早く終わるとどのようなメリットがあるのかを知らせ、行動を促すようにします。例えば、「これが終わったら～できるよ」など明確な目的を示してあげるといいですね。

子どもが自分で考えて判断できる環境を作りましょう。

子どもを育てるという目的をもって

こうしなさい、あしなさいと子

どもに言うことは、子どもにとっては命令されていることと同じです。そして命令され続けると、人の言いなりになることに慣れてしまい、自分で考えることができない人間になってしまいます。

しかしわが子を自立した人間に育てたいと願うのはどの親も変わりません。でしたら、多少遠回りに思うかもしれませんが、忍耐強く子どもを導くことを常に意識する必要があります。

子どもにNGワードを使ってしまいう時、親もイライラしている場合ではないでしょうか。確かに子育てにはストレスがつきものです。子どもに完璧を求めず、失敗しても受け入れてあげるくらいの余裕を持つことを心がけましょう。(了)

